

秋田県における斑点米カメムシ類の主要加害種の変化に伴う防除対策

高橋 良知 氏

(秋田県農業試験場)

日時：2015 年 1 月 15 日（木）16:30～18:00 頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0307 教室

斑点米カメムシ類は、秋田県をはじめとする多くの水稲産地で最も重要な害虫となっています。斑点米カメムシ類の加害により斑点米（着色粒）が多発すると品質検査において落等し、生産者は経済的に大きな損害を受けてまいります。生産現場では着色粒を少なくするための対策が必須であり、発生生態に基づいた効果的・効率的な防除方法が求められています。

秋田県では近年、斑点米カメムシ類の主要種がアカヒゲホソミドリカスミカメからアカスジカスミカメに変化しています。両種の発生生態には異なる点があり、アカスジカスミカメの場合には殺虫剤散布のみならず水田内外の雑草排除という耕種的対応が重要になるなど、生産現場では若干の混乱も生じています。今回の講演では、害虫種の変遷に対する生産現場での対応や指導上の苦勞等について紹介して頂きます。是非、奮ってご参加下さい。